

**森議員** 通告していました件で、私から質問させていただきますのは、町が設置している看板についてになります。まず国道55号線に設置されている町堺の看板について、町境の看板というと、牟岐町に入る時には「ようこそ！ここから牟岐町ですよ」と町へお迎えし、牟岐町を抜けてお隣の町へ行く時には「またどうぞ、お気をつけて」と見送りする、いわば町の玄関口のような役割を担っているものだと思います。しかし、美波町側の看板も海陽町側の看板も、経年劣化により支柱が錆び、所によっては、金属がめくれ上がっており、ペンキもはげて図柄や文字が確認できないような状態になっています。他にも町が設置した、いくつかの観光施設等への案内看板も、老朽化が目立ち、その役割を果たしていないものが多々ありますが、こういったものの把握状況や修繕、または、撤去などの今後の対応予定などありましたら、ご回答をよろしくお願いします。そして近年では、出羽島が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、千年サンゴの保全活動が日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産に登録されました。また、訪日外国人の増加につられ、海外からのお遍路さんも年々増加しており、2020年の東京五輪の年には長期休暇を取った外国人観光客が四国を訪れることも考えられます。今後、もし看板を修繕、設置する予定があれば、こういった観光資源への取り組みへの言及や、英語表記を加えるなどもご検討いただければと思います。また、現状では夜間において看板が確認しづらいため、LEDなどの照明でライトアップするなどの工夫も合わせてご検討ください。町をアピールするなら、今はインターネットが何より効果的だとは思いますが、実際に町に訪れて最初に目に映ったものが現状の看板では、町のイメージを損なってしまうのではないかと思います。修繕については、ぜひ早急な対応をよろしくお願いします。回答をお願いします。

**枅富議長** 福井町長。

**福井町長** 看板の整備と設置についてですが、森議員ご指摘のとおり、町境並びに牟岐町内の国道沿いに設置されている観光案内看板は、経年劣化により老朽化が非常に激しく、観光PRの役割を果たしていないと思われま。これは、牟

岐町健康管理センターの営業休止や、クラブノアのダイビング事業の中止、また「モラスコむぎ」の指定管理者の変更などにより、各施設の後の使用者や使用用途が決まらないことから、手を加えることができないもので、現状に合わない看板が多くあり、撤去も含め、できるだけ早く改善しなければならないと認識しています。現時点では、新たな看板の設置計画はありませんが、新たな事業を開始する時、あるいは2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック、または、2021年開催予定の関西ワールドマスタースゲームズによるインバウンドへの対応など外国語表記の必要性があれば、対応してまいりたいと考えています。今年度出羽島が重伝建に選定されたこともあり、出羽島の重伝建をはじめ、千年サンゴを核とした牟岐町の観光振興を進める上においても、来町者を適切にご案内ができるような観光看板になるよう維持管理に努めてまいりたい、また可能であれば、夜間のLEDのライトアップなども検討してまいりたいと考えています。以上です。

**枅富議長** 田中産業課長。

**田中産業課長** 私からは、森議員のご質問につきまして、町長の答弁の補足という形でお答えさせていただきます。町管理で国道沿いに設置しています観光案内看板は、温泉関係が2基、モラスコむぎの案内看板が4基、ダイビングスポット案内が2基、牟岐町のキャッチフレーズが入ったのが1基の計9基です。設置から年数が経過していることと、メンテナンスが行き届いてなかったこともありまして、支柱などの塗装は剥離し看板自身も老朽化が進んでいますが、今のところ倒れるまでの危険性は見受けられません。ただ、台風などで倒れたまま放置されている町が設置した看板以外の看板につきましては、撤去するにも所有権があるので、その点については、調査のうえ関係機関と協議して対応してまいりたいと考えています。今後は、牟岐町の観光PR看板として、適切な維持管理を図るとともに、改善を進めてまいります。以上です。

**枅富議長** 森議員。

**森議員** 昨年開かれた国土交通省四国整備局の説明会において、牟岐町の通る国道55線、確か1日に通行車両が7千台とお聞きしました。この計算でいくと年間に250万台通過するので、そこに一人、二人乗っていれば、数百万人、そういう多くの人々が現状のあの看板を目にしている状態になるので、特に町の町境の看板は、まちに訪れた人を気持ちよく迎えるための第一の目印でもあるの

で、大変重要な役割を担っているので、ぜひとも早急な対応を重ねてお願いします。以上で質問を終わります。